

発表日：2017年1月10日

DLEプロデュースの実写映画「ディストラクション・ベイビーズ」

第90回キネマ旬報ベスト・テンにて、 主演男優賞、新人男優賞、新人女優賞を受賞

株式会社ディー・エル・イー（本社：東京都千代田区、代表取締役：椎木隆太、以下、DLE）は、DLEがプロデュースした実写映画「ディストラクション・ベイビーズ」（真利子哲也・監督/柳楽優弥・主演）が、第90回キネマ旬報ベスト・テンにて、主演男優賞、新人男優賞、新人女優賞を受賞したことをお知らせいたします。

「ディストラクション・ベイビーズ」は第69回カルノ国際映画祭で「新進監督コンペティション部門 最優秀新進監督賞」、フランスの「ナント三大陸映画祭」で「銀の気球賞」（準グランプリ）、国内ではTAMA映画祭で特別賞、ヨコハマ映画祭で日本映画ベストテン第3位を受賞しています。

【第90回キネマ旬報ベスト・テン「ディストラクション・ベイビーズ」受賞概要】

主演男優賞：柳楽優弥（『ディストラクション・ベイビーズ』）

新人男優賞：村上虹郎（『ディストラクション・ベイビーズ』）

新人女優賞：小松菜奈（『溺れるナイフ』、『ディストラクション・ベイビーズ』他）

【映画「ディストラクション・ベイビーズ」概要】



■ストーリー

愛媛県松山市西部の小さな港町・三津浜。海沿いの造船所にふたりきりで暮らす芦原泰良と弟の将太。喧嘩に明け暮れていた泰良は、ある日を境に三津浜から姿を消す。

松山の中心街、強そうな相手を見つけては喧嘩を仕掛け、打ちのめされても食い下がる泰良。彼に興味をもった北原裕也が、「おもしろいことしようや」と声をかける。通行人をターゲットに無差別に暴行を加え、車を強奪したふたりは、乗り合わせていた少女・那奈と松山市外へ向かう。その頃、将太は、自分をおいて消えた兄を探しに松山市内へとやってきていた一。

■タイトルの由来

タイトルの由来は、「Distraction=気晴らし、動揺」だけでなく、「Destruction=破壊」という、類似する発音で2つの意味を持った言葉から、この映画の若者たちの群像劇を象徴するタイトルとなった。

■作品概要

タイトル：「ディストラクション・ベイビーズ」

監督・脚本：真利子哲也 脚本：喜安浩平

製作幹事：DLE 配給：テアトル

公式サイト：distraction-babies.com ©2016「ディストラクション・ベイビーズ」製作委員会

キャスト：柳楽優弥 菅田将暉 小松菜奈 村上虹郎 池松壮亮 北村匠海 三浦誠己 でんでん

DVD&Blu-ray 好評発売中



柳楽優弥さん



菅田将暉さん



小松菜奈さん



村上虹郎さん



でんでんさん

【キネマ旬報ベスト・テンとは】

『キネマ旬報』は、1919（大正8）年に創刊され、現在まで続いている映画雑誌として、日本では最も古い歴史を誇ります。キネマ旬報賞の始まりは、当時の編集同人の投票集計により、まず1924年度（大正13年）のベスト・テンを選定したのが、その最初。当初は＜芸術的に最も優れた映画＞＜娯楽的に最も優れた映画＞の2部門（外国映画のみ）でしたが、1926（大正15）年、日本映画の水準が上がったのを機に、現行と同様の＜日本映画＞＜外国映画＞の2部門に分けたベスト・テンに変わりました。戦争による中断があったものの、大正時代から継続的にベスト・テンは選出され続けており、2016年度のベスト・テンで90回目を数えます。

【株式会社ディー・エル・イー 会社概要】

IP（著作権や商標権等の知的財産権）を開発・取得し、幅広い事業領域へサービスを提供する総合エンタテインメントカンパニー。動画広告等のマーケティングサービス提供、スマートフォンアプリの企画開発、映画・TV・ネットメディア等の映像コンテンツ制作等、時流に乗ったサービスを迅速かつ低コストで量産することで、2014年に東証マザーズ、2016年に東証一部へ上場。

アニメ・キャラクター（秘密結社 鷹の爪、パンパカパンツ、貝社員等）やファッション・ビューティー（東京ガールズコレクション）といった日本が誇るエンタメIP・コンテンツを包括的に保有し、地方創生、海外展開などを積極的に推進する。

本件に関するお問合せ：株式会社ディー・エル・イー (<http://www.dle.jp/>)

TEL：03-3221-3980 FAX：03-3221-3690 email：ir@dle.jp IR担当：深瀬